

# 子どもと学ぼう!

歴史編

塚口御坊(現・正玄寺)に一向一揆衆が土塁と堀をめぐらせたのが始まりです。北町門、東町門、南町門の跡にはそれぞれ祠があり、土塁の名残や堀跡を見ることができます。阪急神戸線の南側にも堀跡があります。

たの田能遺跡



猪名川の左岸、東西110m・南北120mに広がる弥生時代の集落跡です。住居跡や様々な棺墓が発掘され、この時代の墓制を明らかにする手がかりを与えてくれました。他にも大量の土器や石器、勾玉、木製品、獣骨や貝がらなどが発見され、弥生時代の近畿地方を解明するための価値の高い遺跡として国の史跡に指定されました。

とまつ富松城跡



中世城郭の原形をとどめた土塁の一部がみられる貴重な城館跡です。築城は尼崎城より古く、定まった城主がいないうまま攻防戦が繰り返されました。四方を100m以上の堀が囲み、板葺きの城館があったことがわかっています。

塚口城跡



猪名寺

JR宝塚線

名神高速道路

山陽新幹線

JR神戸線

尼崎城



大坂夏の陣(1617年)の後から、大坂城の西の守りとして「尼崎城」が築られました。

尼崎城を拠点とした尼崎藩領は、東は尼崎市・西は須磨の辺りまであったことも…

また、戦の舞台になったことがなく、250年もの長い年月を天下泰平に過ごすことができた「平和のシンボル」となるお城です。

親子でお散歩しながら昔の尼崎に触れてみてはどうでしょうか? ほかに新しい発見があるかも…

尼崎市には、歴史を思わせるたくさんの施設があります。今回は、城跡をメインにご紹介します!